

「輝ける日展目指す」

東海展きょう開幕 前夜祭に360人

第2回日展東海展 前夜祭



前夜祭で紹介される特選の受賞者＝26日、名古屋市中区の名古屋観光ホテルで

二十七日開幕の「改組新第二回日展東海展(公益社団法人日展、中日新聞社主催)の前夜祭が二十六日、名古屋市内のホテルであった。日展の奥田小由女理事長(左)は、過去の不正審査問題を受けた改革に触れ「光が差しなかった日展を盛り上げるため、一人でも多くの人に見てもらいた

い。国際的にも輝ける日展を目指す」とあいさつした。三百六十人が出席し、地元入選者を代表して特選の書家、関根玉振さん(左)が「書に没頭して五十三年。艱難辛苦はあったが、「継続は力なり」を信じて邁進してきた。書の世界はいよいよ深い」と精進を誓った。名古屋・栄の愛知県美術

館ギャラリーで日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の五百七十四点を二月十四日まで展示する。一、八日休み。有料。

今後が期待される東海地方の作家に贈られる中日賞も発表された。選ばれたのは次の皆さん。

- 日本画「棲み家」磯部絢子(愛知県幸田町)▽洋画「ドウプロヴニク旧市街」川村隆夫(三重県四日市市)▽彫刻「螺」永江智尚(愛知県刈谷市)▽工芸美術「鬘」片山照子(名古屋市中北区)▽書「薛瑩詩」山際雲峰(同市天白区)

美術教育講座 講師